

(社)日本原子力学会 標準委員会 リスク専門部会  
第45回 レベル1PRA分科会 議事録

1. 日時 第45回：2014年5月28日(水)13:30～17:00

2. 場所 原子力安全推進協会 1,2会議室

3. 出席者

(出席委員)高田主査(阪大),桐本副主査(電中研),鎌田委員候補(原安進),小谷委員(NEL),五十嵐委員(原電),岩谷委員(中電),菅原委員(関電),岡野委員(JAEA),黒岩委員(MHI),藤井(小森委員代理)(東芝),佐藤委員(元東京海洋大),園山(佐藤委員代理)(TEPSYS),喜多(上村委員代理)(東電),久持委員(日立GE)(14名)

(欠席委員)高橋委員(東北大),牟田委員(東京都市大),佐藤(親)委員候補(TEPSYS)(3名)

(常時参加者)友澤(四国),小倉(電中研),濱口(規制庁),佐竹(原安進),村田(原安進),根岸常時参加者(原情シ),野村(成宮常時参加者代理)(関電),池田(原情シ),小西(NEL)(9名)

(敬称略)

4. 配布資料

P4SC-45-1 第44回レベル1PRA分科会議事録(案)

P4SC-45-2 人事について

P4SC-45-3 PRAパラメータ標準改定の概要スケジュール

P4SC-45-4-1 PRAパラメータ標準改定の進め方について

P4SC-45-4-2 PRAパラメータ標準とASME/ANS PRA標準との比較(最新知見の反映)

P4SC-45-4-3 PRAパラメータ標準に係る文献調査(最新知見の反映)

P4SC-45-4-4 「他のPRA標準との比較」作業方針

5. 議事内容

委員14名中10名が出席しており,分科会成立に必要な定足数を満足している旨が報告された。各議題について、議事内容を示す。

(1) 前回議事録の確認(資料P4SC-45-1)

資料P4SC-45-1により前回議事録を確認した。「菅原委員の出席」以外に特にコメントはなかった。

(2) 人事について (資料 P4SC-45-2)

委員として佐藤(親)委員,鎌田委員が承認された。また,常時参加者3名が承認された。さらに,資料 P4SC-45-2 に示された委員の退任および常時参加者の解除について報告があった。

幹事については,鎌田委員が幹事となることが承認された。

(3) PRA パラメータ標準改定の概要スケジュール(資料 P4SC-45-3)

鎌田幹事より資料 P4SC-45-3 を用いて概要スケジュールの説明があった。平成 26 年度にパラメータ標準の改定,平成 27 年度に停止時 PRA 標準の改定を検討するスケジュールが確認された。

(4) PRA パラメータ標準改定の進め方について(資料 P4SC-45-4-1)

鎌田幹事より資料 P4SC-45-4-1 を用いて改定の進め方について説明された。HRA については,有効な手法があらわれた時点で検討することが確認された。

(5) PRA パラメータ標準と ASME/ANS PRA 標準との比較(最新知見の反映) (資料 P4SC-45-4-2)

小谷委員より資料 P4SC-45-4-2 を用いて ASME/ANS PRA 標準との比較検討方法について説明があった。主な議論は以下の通り。

- ・ ASME の IE-C などはずしもパラメータ標準のスコープと合致しない場合があり,パラメータ標準と関係無い場合がある。
- ・ 既発行のパラメータ標準に対するユーザーからのフィードバック,即ち実際の使い勝手や改善の方向性に係る御意見などを得ていくことが重要ではないかとの意見があった。
- ・ 検討において,今回は作業会を設置する計画はないが,さらに専門家が必要になった場合は必要に応じ招聘することで対応することとなった。
- ・ 本作業は 6/27 までに対応

(6) PRA パラメータ標準に係る文献調査(最新知見の反映) (資料 P4SC-45-4-3)

小谷委員より資料 P4SC-45-4-3 を用いて文献調査の状況について説明があった。主な議論は以下の通り。

- ・ 説明資料では二種類のスクリーニング(タイトルによる分析,アブストラクトによる分析)があり,どちらでスクリーニングしたかを明示することとなった。
- ・ 調査対象文献は,2010 年以降となっているが,分科会の開始時点に遡るべきではないかとの意見があった。
- ・ 文献としては,パラメータ評価の手法自体に関するもの,事象データ,パラメータ評価

を行った事例の3種類がある。パラメータ標準の改定の観点からは、特に事例が重要だが、関連する報告書はスクリーニングアウトされているため、再度注意深く確認してはどうかとの意見があった。

(7) 「他の PRA 標準との比較」作業方針(資料 P4SC-45-4-4)

小谷委員より資料 P4SC-45-4-4 を用いて他の標準との関係について説明があった。主な議論は以下の通り。

- ・調査結果から、本文中にパラメータ標準を参照する場合と、引用規格として明記する場  
合があることがわかった。
- ・また、レベル2 PRA 標準等、今回調査対象としていない標準もパラメータ標準との関係  
性について追加調査することとなった。
- ・標準間のクロスリファレンスは、不要ではないかとの意見があった。
- ・上記の議論の結果、本検討ではガイドの引用について、引用規格/本文での参照、明記  
するかどうかを検討することとなった。
- ・本作業は7/18 までに対応

(8) その他

その他の主要な議論/説明を以下に示す。

- ・レベル1 PRA 講習会(9/11, 京都)の予定が説明された。テキストおよび OHP についてコ  
メントがあれば事務局に連絡することとなった。
- ・NUTHOS-10(12/14-18, 沖縄)におけるレベル1 PRA 標準の紹介の計画が説明された。
- ・標準作成における作業用データの受け渡しサイトについて紹介があった(参考資料)。

(9) 次回打合せ

第46回分科会 : 7/10 (木) PM

第47回分科会 : 7/25 (金) PM

以上